

Ⅰ 重点研究テーマ「自己発揮できる子どもの育成」の視点 ◇上村恵津子先生(信大教授)からの学び◇第4回目実施



・<3年支援・手立て…グループ学習>…最終参観日で保護者の前に出て全員が一人で発表できた。多様な子ども達が一定の発表基準にそって自己発揮した瞬間でした。グループで付箋をボードに貼り分類分けをして自己発揮している姿は、安心して自分の思いを



付箋に書いたりはったりして夢中になっている姿でした。

<1年支援・手立て…人・物・事を大切に展開>…長地域の福田さんとの交流か

らダンスや歌で自己発揮する子ども達。地域の人・もの・事を大事にした年間をとしての活動が見事でした。子どもたちは、地域の中で自己発揮していった。

<2年支援・手立て…個別支援>…箱の1辺の長さをものさして計る場面で、手を添えながら1



cmずつ一緒に数えていく担任の個別支援によって、理解が進み今度は一人で計測し自己発揮へとつながっていった。

<なかよし学級支援・手立て…具体物を活用した環境づくり>…お店での買い物場面の環境作りから、実際にお金の計算をしながら学習することで、自分から意欲的に計算をする自己発揮の姿(2,3年児童)は、イメージ化につながる



環境作りの大切さをものがたっていた。



<4年支援・手立て…視覚的な配慮のあるICT活用>…デジタル教科書を活用した道徳の場面で、音読を映像と音声によってよりその時の場面をイメージしやすくした。そして、本





の世界から自分の実際の生活を振り返る場面へと意識を戻すことで、普段の良くできていることとうまくいっていない自分の姿を書き込ませた。さらにどうすれば、できるようになるか考えさせたことで、自己発揮を促していた。

<5年支援・手立て…何でも言える自分の居場所がある学級経営>

…「実は洋食が大好き・・・」本音を引き出し動き始めた総合的な学習。そのいきさつ・環境を考察していきたい。そして、さらなる核となるキーワード（考え方・材料・見通しの中にある共通点を探し出したい）にたどり着きたい。これが、上村先生が言っている探究プログラムであり卒論である。

<6年支援・手立て…明確な課題設定>…めあて「伝えたい内容を整理してスピーチメモを書く」学習の課題（めあて）を明確にした上で、クロームブックを活用してスライドなど自由に意欲的に操作しながら活動していく自己発揮の姿が見られた。安心できる教室環境も大前提。



※上村先生に教えていただいた「自尊感情の4タイプ」を意識しながら、個に迫り、集団としては常に安心感のある学級集団の確立を継続していきたい。<教師の意図 願う姿>と<自己発揮する児童>→学級全体が吸いあがり自己発揮へ！

2 連絡

(1) 非違行為未然防止に向けて！ 「長小から非違行為を絶対に出さない」自戒の念を込めて！

①適切なデータ管理を！

年度末の大事な時期ですので、個人情報が出回っていないよう、十分気を付けていきましょう。小学校から中学校への大事な書類の受け渡しがあります。落ちのないように！
26日…上田市の^⑧溶解処分の活用。職員PC内の個人情報の適切な管理と削除。

②義務教育課の懲戒処分数（県のHPにも掲載中）

風通しの良い職場作り・同僚性を発揮して非違行為根絶に向けて継続をお願いします。年度末から年度初めにかけての交通事故や交通違反、非違行為全般の注意喚起を！引き続き、児童の人格を尊重した教育活動を継続していきましょう。

③飲酒…留別会での帰宅方法の明記、翌日の乗り出し時間への気配りなど飲酒運転撲滅への協力に感謝。

④勤務時間縮減に向けての取り組みに手ごたえあり。R5年度4月に比べて全職員時間外勤務時間が短縮しています。ワークライフ バランス（仕事に誇りをもち エネルギーをそそぎ仕事から活力を得て 家庭生活を生き生きと！）が良い方向へ！教員業務支援員の活用も教頭先生を窓口にして順調に進んでいます。感謝して継続していきましょう。

(2) 朝の登校について思う・・・地域の方々の積極的な雪かきに感謝です。学校だより等にも感謝の意を掲載しています。子ども達も高学年を中心に雪かきをしてくれました。長地域の生活に根ざした雪かきでした。先生方もありがとうございました。

ただ、児童の車での送迎車があり、車の方が危ない状況はたまに見かけます。できる限り徒歩通学を推奨していきたいですね。送迎の場所を変えるか検討中。職員の車も急遽助けてくれた先生方ありがとうございました。さすがチーム長小職員！

(3) 先生方が表彰されました。長小学校の重点目標「自己発揮できる子どもの育成」にかかわる研究論文（研究主任：若林教諭 全職員）を出したところ、日本教育公務員弘済会より奨励賞をいただきました！個別研究として信濃教育会より佳作をいただきました。本年度の長小学校の子ども達への自己発揮に向けた取り組みを評価していただきありがとうございました。全職員の励みとなっています。今後子どもたちの変容をさらに追いかけていきます。